

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4341514号
(P4341514)

(45) 発行日 平成21年10月7日(2009.10.7)

(24) 登録日 平成21年7月17日(2009.7.17)

(51) Int.Cl.

F I

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 1 7 0 J

G 0 6 F 17/30 3 2 0 A

請求項の数 5 (全 20 頁)

(21) 出願番号	特願2004-273672 (P2004-273672)	(73) 特許権者	000001443
(22) 出願日	平成16年9月21日 (2004. 9. 21)		カシオ計算機株式会社
(65) 公開番号	特開2006-92004 (P2006-92004A)		東京都渋谷区本町 1 丁目 6 番 2 号
(43) 公開日	平成18年4月6日 (2006. 4. 6)	(74) 代理人	100058479
審査請求日	平成19年7月26日 (2007. 7. 26)		弁理士 鈴江 武彦
		(74) 代理人	100091351
			弁理士 河野 哲
		(74) 代理人	100088683
			弁理士 中村 誠
		(74) 代理人	100108855
			弁理士 蔵田 昌俊
		(74) 代理人	100075672
			弁理士 峰 隆司
		(74) 代理人	100109830
			弁理士 福原 淑弘

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 辞書情報表示制御装置および辞書情報表示制御プログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の辞書毎に見出し語に対応した説明情報を記憶する複数辞書記憶手段と、

この複数辞書記憶手段により記憶された複数の辞書のそれぞれに対応付けて、ジャンプ検索対象文字の文字種毎のメインのジャンプ先辞書とサブのジャンプ先辞書を設定するジャンプ先辞書設定手段と、

前記複数辞書記憶手段により記憶された複数の辞書のうち検索の元となる任意の辞書をユーザ操作に応じて指定する元辞書指定手段と、

検索対象文字をユーザ操作に応じて入力する検索文字入力手段と、

この検索文字入力手段により入力された検索対象文字に対応して前記元辞書指定手段により指定された検索元辞書における見出し語を検索し、当該検索された見出し語に対応した説明情報を同検索元辞書から読み出して表示させる検索情報表示制御手段と、

この検索情報表示制御手段により表示された見出し語説明情報に基づきジャンプ検索対象文字をユーザ操作に応じて指定するジャンプ検索文字指定手段と、

メインのジャンプ先辞書又はサブのジャンプ先辞書のいずれかをユーザ操作に応じて指定するジャンプ先辞書指定手段と、

前記元辞書指定手段により指定された検索元辞書と、前記ジャンプ検索文字指定手段により指定されたジャンプ検索対象文字の文字種とに対応し、前記ジャンプ先辞書指定手段により指定された種類のジャンプ先辞書を、前記ジャンプ先辞書設定手段から読み出して決定するジャンプ先辞書決定手段と、

10

20

前記ジャンプ先辞書決定手段により決定されたジャンプ先辞書から前記ジャンプ検索対象文字に対応する見出し語を検索し、当該検索された見出し語に対応した説明情報を同ジャンプ先辞書から読み出して表示させるジャンプ検索情報表示制御手段と、
を備えたことを特徴とする辞書情報表示制御装置。

【請求項 2】

前記ジャンプ先辞書設定手段は、前記複数辞書記憶手段により記憶された複数の辞書のそれぞれに対応付けて、ジャンプ検索対象文字の文字種毎のメインのジャンプ先辞書とサブのジャンプ先辞書をユーザ操作に応じて設定することを特徴とする請求項 1 に記載の辞書情報表示制御装置。

【請求項 3】

前記ジャンプ検索情報表示制御手段は、

前記ジャンプ検索対象文字に対応して前記メインのジャンプ先辞書から複数の見出し語が検索された場合に、この検索された複数の見出し語を一覧表示させ、任意の見出し語をユーザ操作に応じて選択指定表示させるメインジャンプ見出し語一覧表示制御手段と、

このメインジャンプ見出し語一覧表示制御手段により選択指定表示された見出し語に対応した説明情報を前記メインのジャンプ先辞書から読み出して表示させる選択見出し語対応メインジャンプ検索情報表示制御手段と、

前記ジャンプ検索対象文字に対応して前記サブのジャンプ先辞書から複数の見出し語が検索された場合に、この検索された複数の見出し語を一覧表示させ、任意の見出し語をユーザ操作に応じて選択指定表示させるサブジャンプ見出し語一覧表示制御手段と、

このサブジャンプ見出し語一覧表示制御手段により選択指定表示された見出し語に対応した説明情報を前記サブのジャンプ先辞書から読み出して表示させる選択見出し語対応サブジャンプ検索情報表示制御手段とを有する、

ことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の辞書情報表示制御装置。

【請求項 4】

前記メインジャンプ見出し語一覧表示制御手段により任意の見出し語が選択指定表示された状態で前記ジャンプ先辞書指定手段によりサブ辞書が指定されると、前記元辞書指定手段により指定された検索元辞書と、前記選択指定表示された見出し語の文字種とに対応するサブ辞書を前記ジャンプ先辞書設定手段から読み出して決定する再ジャンプ先辞書決定手段と、

前記再ジャンプ先辞書決定手段により決定されたジャンプ先辞書から前記選択指定表示された見出し語に対応する見出し語を検索し、当該検索された見出し語に対応した説明情報を同ジャンプ先辞書から読み出して表示させる再ジャンプ検索情報表示制御手段と、

をさらに備えたことを特徴とする請求項 3 に記載の辞書情報表示制御装置。

【請求項 5】

コンピュータを、

複数の辞書毎に見出し語に対応した説明情報を記憶する複数辞書記憶手段、

この複数辞書記憶手段により記憶された複数の辞書のそれぞれに対応付けて、ジャンプ検索対象文字の文字種毎のメインのジャンプ先辞書とサブのジャンプ先辞書を設定するジャンプ先辞書設定手段、

前記複数辞書記憶手段により記憶された複数の辞書のうち検索の元となる任意の辞書をユーザ操作に応じて指定する元辞書指定手段、

検索対象文字をユーザ操作に応じて入力する検索文字入力手段、

この検索文字入力手段により入力された検索対象文字に対応して前記元辞書指定手段により指定された検索元辞書における見出し語を検索し、当該検索された見出し語に対応した説明情報を同検索元辞書から読み出して表示させる検索情報表示制御手段、

この検索情報表示制御手段により表示された見出し語説明情報に基づきジャンプ検索対象文字をユーザ操作に応じて指定するジャンプ検索文字指定手段、

メインのジャンプ先辞書又はサブのジャンプ先辞書のいずれかをユーザ操作に応じて指定するジャンプ先辞書指定手段、

10

20

30

40

50

前記元辞書指定手段により指定された検索元辞書と前記ジャンプ検索文字指定手段により指定されたジャンプ検索対象文字の文字種とに対応し、前記ジャンプ先辞書指定手段により指定された種類のジャンプ先辞書を、前記ジャンプ先辞書設定手段から読み出して決定するジャンプ先辞書決定手段、

前記ジャンプ先辞書決定手段により決定されたジャンプ先辞書から前記ジャンプ検索対象文字に対応する見出し語を検索し、当該検索された見出し語に対応した説明情報を同ジャンプ先辞書から読み出して表示させるジャンプ検索情報表示制御手段、

として機能させるようにした辞書情報表示制御プログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本発明は、電子データ化した種々の辞書データベースを記憶して任意の見出し語に対応する言語訳や意味内容などの説明情報を検索表示するための辞書情報表示制御装置および辞書情報表示制御プログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

従来から、国語辞典、英和辞典、和英事典などの各種の辞典や辞書を電子データ化してROMなどの記憶媒体に格納し、これに基づき各種の言語や語句を見出し語として入力し、その訳語や意味内容などの説明情報を検索して表示するようにした電子辞書装置が広く汎用されている。

20

【0003】

近年このような電子辞書装置では、各種の辞書データベースのそれぞれにおいて多数の辞書が搭載されるようになっており、例えば英和辞書だけでもその辞書メーカーやユーザ対象レベルの異なる3つ以上の辞書が予め内蔵されているものもある。

【0004】

また最近では、「国語」「漢和」「英和」「和英」などの全ての種類の辞書を合わせて、30辞書以上という非常に多くの辞書が内蔵されている電子辞書装置もある。

【0005】

このような電子辞書装置において、内蔵された多数の辞書を有効に利用するために、ある辞書を選択して見出し語検索された説明情報の中で、さらに内容が不明な単語や語句を指定して他の辞書へジャンプして検索することで、辞書の検索をある辞書検索の結果から連続的に他の辞書へジャンプして利用できるようにしたジャンプ方式の検索機能を備えた電子辞書装置が考えられている。

30

【0006】

このジャンプ方式の検索機能を備えた従来の電子辞書装置では、説明情報の中の所望の単語や語句を指定してジャンプ操作する度に、ジャンプ先の辞書を辞書一覧からユーザ選択するもの（ジャンプ方式1）（例えば、特許文献1参照。）、また、ジャンプ検索の対象となる単語や語句が英語あるいは日本語であるかに応じて該当する全ての辞書がジャンプ先の辞書として選択され、その検索結果が一覧表示されるものがある（ジャンプ方式2）。

40

【特許文献1】特開2001-134585号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

しかしながら、前記従来のジャンプ方式1の検索機能を備えた電子辞書装置では、ジャンプ操作する度にジャンプ先の辞書を辞書一覧から一々ユーザ選択する必要があるため、操作が面倒で煩雑になるばかりか、ジャンプ先辞書の選択画面として表示される辞書一覧に表示すべき辞書の数が増える場合、一画面上での一覧表示ができなかったり、所望のジャンプ先辞書が見つからなかったりするなどの問題が生じる。

【0008】

50

また、前記従来のジャンプ方式2の検索機能を備えた電子辞書装置では、ジャンプ検索の対象となる単語や語句が英語あるいは日本語であるかに応じて該当する全ての辞書がジャンプ先の辞書として選択され、その検索結果の見出し語が一覧表示されるため、検索する必要のない種類の辞書による見出し語まで一覧表示に多く含まれてしまい、例えば和英の辞書をジャンプ先としたいのに漢字や国語の辞書により検索された見出し語まで一覧表示されるなど、検索結果の見出し語選択が面倒で煩雑になる問題がある。

【0009】

本発明は、前記のような問題に鑑みなされたもので、ジャンプ先辞書の面倒な選択操作や多数のジャンプ先辞書による検索見出し語の選択操作を要することなく、適切なジャンプ先辞書を設定選択して容易にジャンプ検索することが可能になる辞書情報表示制御装置

10

、辞書情報表示制御プログラム、および辞書情報表示制御方法を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0010】

本発明の請求項1（請求項5）に記載の辞書情報表示制御装置（辞書情報表示制御プログラム）では、複数の辞書毎に見出し語に対応した説明情報を記憶する複数辞書記憶手段と、この複数辞書記憶手段により記憶された複数の辞書のそれぞれに対応付けて、ジャンプ検索対象文字の文字種毎のメインのジャンプ先辞書とサブのジャンプ先辞書を設定するジャンプ先辞書設定手段と、前記複数辞書記憶手段により記憶された複数の辞書のうち検索の元となる任意の辞書をユーザ操作に応じて指定する元辞書指定手段と、検索対象文字をユーザ操作に応じて入力する検索文字入力手段と、この検索文字入力手段により入力された検索対象文字に対応して前記元辞書指定手段により指定された検索元辞書における見出し語を検索し、当該検索された見出し語に対応した説明情報を同検索元辞書から読み出して表示させる検索情報表示制御手段と、この検索情報表示制御手段により表示された見出し語説明情報に基づきジャンプ検索対象文字をユーザ操作に応じて指定するジャンプ検索文字指定手段と、メインのジャンプ先辞書又はサブのジャンプ先辞書のいずれかをユーザ操作に応じて指定するジャンプ先辞書指定手段と、前記元辞書指定手段により指定された検索元辞書と前記ジャンプ検索文字指定手段により指定されたジャンプ検索対象文字の文字種とに対応し、前記ジャンプ先辞書指定手段により指定された種類のジャンプ先辞書を、前記ジャンプ先辞書設定手段から読み出して決定するジャンプ先辞書決定手段と、前記ジャンプ先辞書決定手段により決定されたジャンプ先辞書からジャンプ検索対象文字に対応する見出し語を検索し、当該検索された見出し語に対応した説明情報を同ジャンプ先辞書から読み出して表示させるジャンプ検索情報表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

20

30

【0018】

本発明の請求項2に記載の辞書情報表示制御装置では、前記請求項1に記載の辞書情報表示制御装置にあって、前記ジャンプ先辞書設定手段は、前記複数辞書記憶手段により記憶された複数の辞書のそれぞれに対応付けて、ジャンプ検索対象文字の文字種毎のメインのジャンプ先辞書とサブのジャンプ先辞書をユーザ操作に応じて設定することを特徴とする。

40

【0020】

本発明の請求項3に記載の辞書情報表示制御装置では、前記請求項1または請求項2に記載の辞書情報表示制御装置にあって、前記ジャンプ検索情報表示制御手段は、前記ジャンプ検索対象文字に対応して前記メインのジャンプ先辞書から複数の見出し語が検索された場合に、この検索された複数の見出し語を一覧表示させ、任意の見出し語をユーザ操作に応じて選択指定表示させるメインジャンプ見出し語一覧表示制御手段と、このメインジャンプ見出し語一覧表示制御手段により選択指定表示された見出し語に対応した説明情報を前記メインのジャンプ先辞書から読み出して表示させる選択見出し語対応メインジャンプ検索情報表示制御手段と、前記ジャンプ検索対象文字に対応して前記サブのジャンプ先辞書から複数の見出し語が検索された場合に、この検索された複数の見出し語を一覧表示

50

させ、任意の見出し語をユーザ操作に応じて選択指定表示させるサブジャンプ見出し語一覧表示制御手段と、このサブジャンプ見出し語一覧表示制御手段により選択指定表示された見出し語に対応した説明情報を前記サブのジャンプ先辞書から読み出して表示させる選択見出し語対応サブジャンプ検索情報表示制御手段とを有する、ことを特徴とする。

【0022】

本発明の請求項4に記載の辞書情報表示制御装置では、前記請求項3に記載の辞書情報表示制御装置にあって、前記メインジャンプ見出し語一覧表示制御手段により任意の見出し語が選択指定表示された状態で前記ジャンプ先辞書指定手段によりサブ辞書が指定されると、前記元辞書指定手段により指定された検索元辞書と、前記選択指定表示された見出し語の文字種とに対応するサブ辞書を前記ジャンプ先辞書設定手段から読み出して決定する再ジャンプ先辞書決定手段と、前記再ジャンプ先辞書決定手段により決定されたジャンプ先辞書から前記選択指定表示された見出し語に対応する見出し語を検索し、当該検索された見出し語に対応した説明情報を同ジャンプ先辞書から読み出して表示させる再ジャンプ検索情報表示制御手段と、をさらに備えたことを特徴とする。

10

【発明の効果】

【0024】

本発明の請求項1（請求項5）に記載の辞書情報表示制御装置（辞書情報表示制御プログラム）によれば、任意の辞書を検索元の辞書として指定して検索表示された見出し語説明情報において、ジャンプ検索対象文字を指定すると、メインのジャンプ先辞書又はサブのジャンプ先辞書の指定の操作だけで前記検索元の辞書の種類とジャンプ検索対象文字の文字種とに応じた適切なジャンプ先辞書が決定され、前記ジャンプ検索対象文字に対応した見出し語説明情報が検索表示されるようになる。

20

【0028】

本発明の請求項2に記載の辞書情報表示制御装置によれば、前記請求項1に記載の辞書情報表示制御装置にあって、ユーザ操作に応じて、前記検索元の辞書の種類とジャンプ検索対象文字の文字種とに応じた適切なメインのジャンプ先辞書とサブのジャンプ先辞書を設定できるようになる。

【0029】

本発明の請求項3に記載の辞書情報表示制御装置によれば、前記請求項1または請求項2に記載の辞書情報表示制御装置にあって、ジャンプ検索対象文字に対応してメインまたはサブの何れのジャンプ先辞書から複数の見出し語が検索された場合でも、この検索された複数の見出し語を一覧表示させ選択して、この選択見出し語に対応した説明情報を表示できるようになる。

30

【0030】

本発明の請求項4に記載の辞書情報表示制御装置によれば、前記請求項3に記載の辞書情報表示制御装置にあって、メインのジャンプ先辞書からサブのジャンプ先辞書へ継続したジャンプ検索情報表示が行えるようになる。

【0031】

よって、本発明によれば、ジャンプ先辞書の面倒な選択操作や多数のジャンプ先辞書による検索見出し語の選択操作を要することなく、適切なジャンプ先辞書を設定選択して容易にジャンプ検索することが可能になる辞書情報表示制御装置および辞書情報表示制御プログラムを提供できる。

40

【発明を実施するための最良の形態】

【0032】

以下図面により本発明の実施の形態について説明する。

【0033】

（第1実施形態）

図1は本発明の辞書情報表示制御装置の実施形態に係る携帯機器（電子辞書）10の電子回路の構成を示すブロック図である。

【0034】

50

この携帯機器（電子辞書）１０は、以下に説明する電子辞書機能を備えたＰＤＡ(personal digital assistants)、ＰＣ(personal computer)、携帯電話、電子ブックとして構成されるか、電子辞書専用の携帯機器として構成される。この携帯機器（電子辞書）１０は、各種の記憶媒体に記録されたプログラム、又は、伝送されたプログラムを読み込んで、その読み込んだプログラムによって動作が制御されるコンピュータによって構成され、その電子回路には、ＣＰＵ(central processing unit)１１が備えられる。

【００３５】

ＣＰＵ１１は、メモリ１２内に予め記憶された装置制御プログラム、あるいはＲＯＭカードなどの外部記憶媒体１３から記憶媒体読取部１４を介して前記メモリ１２に読み込まれた装置制御プログラム、あるいはインターネットＮ上のＷｅｂサーバ（この場合はプログラムサーバ）２０から通信部１５を介して前記メモリ１２に読み込まれた装置制御プログラムに応じて、回路各部の動作を制御するもので、前記メモリ１２に記憶された装置制御プログラムは、キーやタッチパネルからなる入力部１６からのユーザ操作に応じた入力信号、あるいは通信部１５を介して接続されるインターネットＮ上の各Ｗｅｂサーバ２０...との通信信号、あるいは記憶媒体読取部１４を介して外部接続されるＥＥＰＲＯＭ，ＲＡＭ，ＲＯＭなどのメモリカード（記憶媒体）１３との接続通信信号に応じて起動される。

10

【００３６】

前記ＣＰＵ１１には、前記メモリ１２、記憶媒体読取部１４、通信部１５、入力部１６が接続される他に、ＬＣＤからなる表示部１７などが接続される。

20

【００３７】

メモリ１２には、当該携帯機器（電子辞書）１０の全体の動作を司るシステムプログラムや通信部１５を介してインターネットＮ上の各Ｗｅｂサーバ２０...とデータ通信するための通信プログラムが記憶される他に、新たに必要な辞書データを辞書管理用のＷｅｂサーバ２０やメモリカード（記憶媒体）１３からダウンロードしたり、ユーザ選択された辞書データ（１２ｂ）に基づき見出し語入力に応じた訳語や意味内容などの各種説明情報を検索したり、当該辞書検索された説明情報の中でさらにユーザ指定した単語や語句を見出し語としてジャンプ先辞書設定テーブル１２ｄにて設定されたジャンプ先の辞書データ（１２ｂ）に基づきその訳語や意味内容などの説明情報をジャンプ検索したり、前記ジャンプ先辞書設定テーブル１２ｄにおけるジャンプ先辞書の設定内容をユーザ操作に基づき変更設定したりするための辞書制御プログラム１２ａが記憶される。

30

【００３８】

また、このメモリ１２には、辞書データメモリ１２ｂ、指定辞書メモリ１２ｃ、ジャンプ先辞書設定テーブル１２ｄ、入力文字メモリ１２ｅ、ジャンプ先辞書メモリ１２ｆ、検索結果データメモリ１２ｇ、ワークエリア１２ｈなどが用意される。

【００３９】

辞書データメモリ１２ｂには、種類の異なる多数の辞書データ（例えば１４辞書）が予め、あるいはダウンロードされて複数辞書記憶されるもので、例えば「広 苑」「百科事典」「英和辞典」「和英辞典」などが記憶される。そして、これらの各内蔵辞書は、それぞれ各種別の辞書キー「広 苑」「百科」「英和」「和英」１６ａ１～１６ａ４（図２参照）毎に当該キー操作に応じて検索対象として設定される。

40

【００４０】

指定辞書メモリ１２ｃには、前記各種別の辞書キー「広 苑」「百科」「英和」「和英」１６ａ１～１６ａ４（図２参照）の操作に応じて検索対象としてユーザ指定された辞書名が記憶される。

【００４１】

ジャンプ先辞書設定テーブル１２ｄ（図３参照）には、辞書データメモリ１２ｂに記憶された各辞書「広 苑」「百科事典」「英和辞典」「和英辞典」をそれぞれ元の検索辞書とした場合のジャンプ先の辞書が、そのジャンプ検索の対象となる指定の単語や語句の文字種毎に対応付けされて設定記憶される。

50

【 0 0 4 2 】

入力文字メモリ 1 2 e には、検索対象としてキー入力あるいは辞書検索に伴い表示された説明情報上でジャンプ検索対象として指定された単語や語句の文字列が記憶される。

【 0 0 4 3 】

ジャンプ先辞書メモリ 1 2 f には、検索使用中の元辞書とこれにより見出し語検索表示された説明情報上でジャンプ検索対象として指定された文字列の文字種とに応じて前記ジャンプ先辞書設定テーブル 1 2 d により設定されたジャンプ先の辞書名が記憶される。

【 0 0 4 4 】

検索結果データメモリ 1 2 g には、通常の辞書検索処理やジャンプ検索処理に伴い検索された見出し語対応の説明情報が記憶される。

10

【 0 0 4 5 】

ワークエリア 1 2 h には、前記辞書制御プログラム 1 2 a などの各種の装置制御プログラムに従い C P U 1 1 に入出力される種々のデータが必要に応じて記憶される。

【 0 0 4 6 】

図 2 は前記携帯機器（電子辞書）1 0 の入力部 1 6 であるキーボードパネルを示す図である。

【 0 0 4 7 】

キーボードパネル（1 6）には、ひらがな，カタカナ，漢字，英数字を任意入力するための一連の文字入力キーが配列されると共に、辞書データメモリ 1 2 b に記憶されている全ての辞書を対象にして入力見出し語に対応する説明情報の検索を行うための「全辞書」キー 1 6 A、各種別の辞書を指定して入力見出し語に対応する説明情報の検索を行うための各辞書キー「広 苑」1 6 a1、「百科」1 6 a2、「英和」1 6 a3、「和英」1 6 a4、ノーマルモードでメニューキー，シフトモードで電卓キーとして機能する「メニュー／電卓」キー 1 6 m、シフトモードに設定するための「シフト」キー 1 6 s、ノーマルモードで削除キー，シフトモードで設定キーとして機能する「削除／設定」キー 1 6 E、メインのジャンプ先辞書によるジャンプ検索後の状態においてサブのジャンプ先辞書でも同一の見出し語検索を行うための「サブ辞書」キー 1 6 D、指定の辞書に基づき見出し語検索表示されている説明情報中の文字列を新たな検索対象見出し語として任意指定し前記ジャンプ先辞書設定テーブル 1 2 d に基づき設定されたジャンプ先辞書に基づきジャンプ検索処理を起動させるための「スーパージャンプ」キー 1 6 J、検索表示中の説明情報に記述されている「用例／解説」マークを指定してその用例または解説を表示させるための「用例・解説」キー 1 6 R、処理ステップの戻りを指示するための「戻る」キー 1 6 B、各種ページ操作の他、検索表示中の隣接見出し語の切り替え指定操作を行うためのページアップキー 1 6 u、ページダウンキー 1 6 d、表示画面上でのデータ選択操作やスクロール操作を行うための上下左右方向の各カーソルキー 1 6 xd, 1 6 xu, 1 6 yr, 1 6 yf、そして、選択データの決定／確定や選択見出し語に対応した説明情報の読出し表示を指示するための「訳／決定」キー 1 6 Y などが備えられる。

20

30

【 0 0 4 8 】

図 3 は前記携帯機器（電子辞書）1 0 の第 1 実施形態のジャンプ先辞書設定処理に伴うジャンプ先辞書設定画面 G 1 での操作表示状態を示す図である。

40

【 0 0 4 9 】

すなわち、このジャンプ先辞書設定画面 G 1 では、辞書データメモリ 1 2 b に内蔵記憶された各種の辞書「広 苑」「百科事典」「英和辞典」「和英辞典」毎に、ジャンプ検索の対象とすべき文字列（見出し語）の文字種に対応したジャンプ先辞書が選択的に設定され、この設定データが前記メモリ 1 2 内のジャンプ先辞書設定テーブル 1 2 d として記憶される。

【 0 0 5 0 】

次に、前記構成の携帯機器（電子辞書）1 0 による第 1 実施形態の辞書情報表示制御機能について説明する。

【 0 0 5 1 】

50

図4は前記携帯機器（電子辞書）10の第1実施形態のジャンプ辞書設定／検索処理を示すフローチャートである。

【0052】

まず、ジャンプ先の辞書設定処理（ステップS A）では、ジャンプ元辞書の選択（ステップS 1）、ジャンプ先辞書の設定（ステップS 2）と共に、ジャンプ検索すべき対象文字種毎にジャンプ先辞書として適切な辞書を選択設定する処理が行われる（ステップS 3）。

【0053】

図5は前記携帯機器（電子辞書）10の第1実施形態のジャンプ辞書設定／検索処理に伴うジャンプ先辞書設定処理（ステップS A）を詳細にして示すフローチャートである。

10

【0054】

入力部16の「設定」キー（16 E）の操作に応じてジャンプ先辞書設定処理（ステップS A）が起動されると、図3で示したように、ジャンプ先辞書設定画面G 1が表示部17に表示される。

【0055】

このジャンプ先辞書設定画面G 1において、まず、各カーソルキー16 xd, 16 xu, 16 yr, 16 yfおよび「訳／決定」キー16 Yを操作してジャンプ元の辞書を例えば「広苑」として選択決定し反転表示させた状態で（ステップA 1）、この「広苑」を元辞書とした場合のジャンプ検索対象とする各文字種毎のジャンプ先辞書を、同カーソルキー16 xd, 16 xu, 16 yr, 16 yfにより反転カーソルKを移動表示させながら「訳／決定」

20

【0056】

つまり、図3で示す例の場合には、ジャンプ元辞書「広苑」について（ステップA 1）、ジャンプ検索対象の文字種「漢字／ひらがな」に対してはジャンプ先辞書も同「広苑」として選択設定され（ステップA 2, A 3）、文字種「カタカナ」に対してはジャンプ先辞書「百科事典」として選択設定され（ステップA 4）、文字種「アルファベット」に対してはジャンプ先辞書「英和辞典」として選択設定される（ステップA 5）。

【0057】

この後、「戻る」キー16 Bの操作を間に挟んでジャンプ元辞書として「百科事典」「英和辞典」「和英辞典」を選択した場合（ステップA 1）のそれぞれについて、前記同様のジャンプ検索対象文字種毎のジャンプ先辞書の選択設定処理（ステップA 2～A 5）が繰り返され、その設定データがメモリ12内のジャンプ先辞書設定テーブル12 dに記憶される。

30

【0058】

こうしたジャンプ先辞書設定処理（ステップS A）によって、例えば図3で示したように、ジャンプ先辞書設定テーブル12 dが設定記憶された状態での指定の元辞書に応じた通常辞書検索処理およびこれに引き続き行われるジャンプ辞書検索処理の具体例について次に説明する。

【0059】

図6は前記携帯機器（電子辞書）10の第1実施形態のジャンプ辞書設定／検索処理に伴うジャンプ辞書検索の操作表示状態（その1）を示す図である。

40

【0060】

まず、通常の辞書検索を行うのに、例えば図6（A）に示すように、入力部16の辞書キー「広苑」16 a1を操作して元辞書データ「広苑」を選択し、検索対象の文字列（見出し語）「ライフライン」を入力して「訳／決定」キー16 Yを操作すると、入力文字列（見出し語）「ライフライン」を検索対象に辞書データメモリ12 bに記憶された前記選択元辞書データ「広苑」による見出し語検索が行われ、これにより検索された見出し語「ライフライン」とその説明情報が検索情報表示画面G 2として表示部17に表示される（ステップS 4）。

【0061】

50

この指定の元辞書データ「広 苑」に基づき見出し語検索された説明情報の検索情報表示画面 G 2 において、当該説明情報中の単語「life line」を引き続きジャンプ検索するために、図 6 (B) に示すように、入力部 1 6 の「ジャンプ」キー 1 6 J を操作してジャンプ検索モードに切り替えると共に、カーソルキー 1 6 yf を操作してジャンプ辞書検索の対象とすべき単語「life line」をカーソル K により指定表示させる。そして、図 6 (C) に示すように、「訳 / 決定」キー 1 6 Y を操作してジャンプ辞書検索の実行を指示すると (ステップ S 5) 、前記元辞書データ「広 苑」とジャンプ検索対象文字列「life line」の文字種「アルファベット」に従いジャンプ先辞書設定テーブル 1 2 d (図 3 参照) にて設定されている辞書データ「英和辞典」がジャンプ先辞書とされ、このジャンプ先の辞書データ「英和辞典」に基づき前記ジャンプ検索対象単語「life line」を見出し語とする説明情報の検索が行われ、ジャンプ検索情報表示画面 G 2 j として表示部 1 7 に表示される (ステップ S 6) 。

10

【 0 0 6 2 】

したがって、ジャンプ先辞書の面倒な選択操作を行うことなく、「ジャンプ」キー 1 6 J を操作してジャンプ検索対象単語「life line」を指定するだけで、その元辞書データ「広 苑」と検索対象単語「life line」の文字種「アルファベット」に応じて適切に設定されたジャンプ先辞書「英和辞典」が自動選択されるので、容易にかつ適切なジャンプ先辞書を選択してジャンプ辞書検索表示を行うことができる。

【 0 0 6 3 】

図 7 は前記携帯機器 (電子辞書) 1 0 の第 1 実施形態のジャンプ辞書設定 / 検索処理に伴うジャンプ辞書検索の操作表示状態 (その 2) を示す図である。

20

【 0 0 6 4 】

前記図 6 (A) で示したように、指定の元辞書データ「広 苑」に基づき見出し語検索された説明情報の検索情報表示画面 G 2 において (ステップ S 4) 、当該説明情報中の語句「救」を引き続きジャンプ検索するために、図 7 (A) に示すように、入力部 1 6 の「ジャンプ」キー 1 6 J を操作してジャンプ検索モードに切り替えると共に、カーソルキー 1 6 yf を操作してジャンプ辞書検索の対象とすべき語句「救」をカーソル K により指定表示させる。そして、図 7 (B) に示すように、「訳 / 決定」キー 1 6 Y を操作してジャンプ辞書検索の実行を指示すると (ステップ S 5) 、前記元辞書データ「広 苑」とジャンプ検索対象文字「救」の文字種「漢字」に従いジャンプ先辞書設定テーブル 1 2 d (図 3 参照) にて設定されている辞書データ「広 苑」がジャンプ先辞書とされ、このジャンプ先の辞書データ「広 苑」に基づき前記ジャンプ検索対象語句「救」を見出し語とする説明情報の検索が行われる。この場合、ジャンプ先辞書である辞書データ「広 苑」からはジャンプ検索対象語句「救」に対応して 3 つの見出し語 [A] 「救命索」 [B] 「救命」 [C] 「救」が検索され、当該検索された先頭の見出し語 [A] 「救命索」がカーソル K により識別されると共に、対応する説明情報が検索されてその下段に書き込まれたジャンプ検索見出し語選択情報表示画面 G 2 j が表示部 1 7 に表示される (ステップ S 6) 。

30

【 0 0 6 5 】

ここで、前記図 7 (B) で示したように、ジャンプ検索見出し語選択情報表示画面 G 2 j にあって、検索表示されている 3 つの見出し語 [A] 「救命索」 [B] 「救命」 [C] 「救」のうちの先頭の見出し語 [A] 「救命索」がカーソル K により選択表示されている状態で、図 7 (C) に示すように、「訳 / 決定」キー 1 6 Y を操作すると、該選択された見出し語 [A] 「救命索」に対応した説明情報が検索され、ジャンプ検索情報表示画面 G 2 j として表示部 1 7 に表示される (ステップ S 6) 。

40

【 0 0 6 6 】

したがって、ジャンプ先辞書の面倒な選択操作を行うことなく、「ジャンプ」キー 1 6 J を操作してジャンプ検索対象語句「救」を指定するだけで、その元辞書データ「広 苑」と検索対象語句「救」の文字種「漢字」に応じて適切に設定されたジャンプ先辞書「広 苑」が自動選択されるので、容易にかつ適切なジャンプ先辞書を選択してジャンプ辞書検索表示を行うことができる。

50

【 0 0 6 7 】

なお、前記第 1 実施形態におけるジャンプ先辞書設定テーブル 1 2 d では、辞書検索における元辞書データとジャンプ検索対象見出し語の文字種とに応じて適切な 1 つのジャンプ先辞書を設定するものとして構成したが、次の第 2 実施形態において説明するように、同元辞書データとジャンプ検索対象見出し語の文字種とに応じて設定されるジャンプ先辞書を、メインのジャンプ先辞書およびサブのジャンプ先辞書の複数のジャンプ先辞書を設定するものとして構成し、適切なジャンプ先辞書を主要な辞書と補助的な辞書から選択可能な構成としてもよい。

【 0 0 6 8 】

(第 2 実施形態)

図 8 は前記携帯機器 (電子辞書) 1 0 の第 2 実施形態のジャンプ先 (メイン / サブ) 辞書設定処理に伴うジャンプ先 (メイン / サブ) 辞書設定画面 G 3 での操作表示状態を示す図である。

【 0 0 6 9 】

すなわち、このジャンプ先 (メイン / サブ) 辞書設定画面 G 3 では、辞書データメモリ 1 2 b に内蔵記憶された各種多数の辞書「広 苑」「マイ百科事典」「シ * ニアス英和辞典」「リ * ダーズ英和辞典」「シ * ニアス大英和辞典」「シ * ニアス和英辞典」「学習和英辞典」「漢 源」「カタカナ語辞典」「IT用語事典」... 毎に、ジャンプ検索の対象とすべき文字列 (見出し語) の文字種に対応した主要なメインジャンプ先辞書とその補助的なサブジャンプ先辞書とが選択的に設定され、この設定データが前記メモリ 1 2 内のジャンプ先辞書設定テーブル 1 2 d として記憶される。

【 0 0 7 0 】

図 9 は前記携帯機器 (電子辞書) 1 0 の第 2 実施形態のジャンプ先 (メイン / サブ) 辞書設定処理の詳細を示すフローチャートである。

【 0 0 7 1 】

入力部 1 6 の「設定」キー (1 6 E) の操作に応じてジャンプ先 (メイン / サブ) 辞書設定処理が起動されると、例えば図 8 で示すような、ジャンプ先 (メイン / サブ) 辞書設定画面 G 3 が表示部 1 7 に表示される。

【 0 0 7 2 】

このジャンプ先 (メイン / サブ) 辞書設定画面 G 3 において、まず、各カーソルキー 1 6 xd, 1 6 xu, 1 6 yr, 1 6 yf および「訳 / 決定」キー 1 6 Y を操作してジャンプ元の辞書を例えば「広 苑」として選択決定し反転表示させた状態で (ステップ P 1)、この「広 苑」を元辞書とした場合のジャンプ検索対象とする各文字種毎のメインのジャンプ先辞書とサブのジャンプ先辞書を、同カーソルキー 1 6 xd, 1 6 xu, 1 6 yr, 1 6 yf により反転カーソル K を移動表示させながら「訳 / 決定」キー 1 6 Y を操作して選択設定する (ステップ P 2 ~ P 5) 。

【 0 0 7 3 】

つまり、図 8 (A) で示す例の場合には、ジャンプ元辞書「広 苑」について (ステップ P 1)、ジャンプ検索対象の文字種「漢字」に対してはメインのジャンプ先辞書も同「広 苑」として選択設定される一方でサブのジャンプ先辞書が「マイ百科事典」「漢 源」として 2 つ選択設定される (ステップ P 2)。また、文字種「ひらがな」に対してはメインのジャンプ先辞書が「広 苑」として選択設定される一方でサブのジャンプ先辞書が「マイ百科事典」として 1 つ選択設定される (ステップ P 3)。また、文字種「カタカナ」に対してはメインのジャンプ先辞書が「広 苑」として選択設定される一方でサブのジャンプ先辞書が「マイ百科事典」「カタカナ語辞典」「IT用語事典」として 3 つ選択設定される (ステップ P 4)。さらに、文字種「アルファベット」に対してはメインのジャンプ先辞書が「リ * ダーズ英和辞典」として選択設定される一方でサブのジャンプ先辞書が「シ * ニアス英和辞典」「シ * ニアス大英和辞典」「IT用語事典」として 3 つ選択設定される (ステップ P 5) 。

【 0 0 7 4 】

この後、「戻る」キー１６Ｂの操作を間に挟んでジャンプ元辞書として「マイ百科事典」「シ・ニマス英和辞典」「リ・ダズ英和辞典」「シ・ニマス大英和辞典」「シ・ニマス英和辞典」「学習和英辞典」「漢源」「カタカナ語辞典」「ＩＴ用語事典」...をそれぞれ選択した場合（ステップＰ１）について、前記同様のジャンプ検索対象文字種毎のジャンプ先メイン辞書とジャンプ先サブ辞書の選択設定処理（ステップＰ２～Ｐ５）が繰り返され、その設定データがメモリ１２内のジャンプ先辞書設定テーブル１２ｄに記憶される。

【００７５】

図８（Ｂ）では、ジャンプ元辞書として「シ・ニマス英和辞典」を選択した場合のジャンプ検索対象文字種「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「アルファベット」毎のジャンプ先メイン辞書とジャンプ先サブ辞書の選択設定例を示している。

10

【００７６】

こうしたジャンプ先（メイン／サブ）辞書設定処理（ステップＰ１～Ｐ５）によって、例えば図８で示したように、ジャンプ先辞書設定テーブル１２ｄが設定記憶された状態での指定の元辞書に応じた通常辞書検索処理およびこれに引き続き行われるジャンプ辞書検索処理の具体例について次に説明する。

【００７７】

図１０は前記携帯機器（電子辞書）１０の第２実施形態の辞書検索処理を示すフローチャートである。

【００７８】

20

図１１は前記携帯機器（電子辞書）１０の第２実施形態の辞書検索処理に伴うジャンプ辞書検索の操作表示状態（その１）を示す図である。

【００７９】

まず、通常の辞書検索を行うのに、例えば図１１（Ａ）に示すように、入力部１６の辞書キー「広苑」１６ａ１を選択操作して元辞書データ「広苑」を指定し（ステップＱ１）、検索対象の文字列（見出し語）「ライフライン」を入力して「訳／決定」キー１６Ｙを操作すると（ステップＱ２）、入力文字列（見出し語）「ライフライン」を検索対象に辞書データメモリ１２ｂに記憶された前記指定の元辞書データ「広苑」による見出し語検索が行われ、これにより検索された見出し語「ライフライン」とその説明情報が検索情報表示画面Ｇ２として表示部１７に表示される（ステップＱ３）。

30

【００８０】

この指定の元辞書データ「広苑」に基づき見出し語検索された「ライフライン」の説明情報の検索情報表示画面Ｇ２において、当該説明情報中の単語「life line」を引き続きジャンプ検索するために、図１１（Ｂ）に示すように、入力部１６の「ジャンプ」キー１６Ｊを操作してジャンプ検索モードに切り替えると共に（ステップＱ４）、カーソルキー１６ｙｆを操作してジャンプ辞書検索の対象とすべき文字「life line」をカーソルＫにより指定表示させる（ステップＱ５）。

【００８１】

ここで、カーソルＫにより指定表示させたジャンプ検索対象の文字「life line」について、サブのジャンプ先辞書でのジャンプ辞書検索を行いたい場合に、図１１（Ｃ）に示すように、入力部１６の「サブ辞書」キー１６Ｄを操作すると（ステップＱ１７）、前記ジャンプ検索対象の文字「life line」の文字種が「アルファベット」であることが検知される（ステップＱ１８）。

40

【００８２】

すると、前記元辞書データ「広苑」とジャンプ検索対象文字「life line」の検知文字種「アルファベット」に従いジャンプ先辞書設定テーブル１２ｄ（図８（Ａ）参照）にて設定されている３つのサブ辞書データ「シ・ニマス英和辞典」「シ・ニマス大英和辞典」「ＩＴ用語事典」がジャンプ先辞書と決定され（ステップＱ１９）、この決定されたジャンプ先の各サブ辞書データ「シ・ニマス英和辞典」「シ・ニマス大英和辞典」「ＩＴ用語事典」に基づき前記ジャンプ検索対象文字「life line」を見出し語とする説明情報の

50

検索が行われる（ステップQ20）。

【0083】

そして、前記ジャンプ検索対象文字「life line」についてジャンプ先の各サブ辞書データ「シ＊ニマス英和辞典」「シ＊ニマス大英和辞典」「IT用語事典」から検索された各見出し語が各対応するサブ辞書名（記号）と共に、ジャンプ検索見出し語選択情報表示画面G2j にて一覧表示される（ステップQ21）。すなわちこの場合には、ジャンプ先辞書である3つのサブ辞書データのうち2つのサブ辞書データ「シ＊ニマス英和辞典」「シ＊ニマス大英和辞典」からそれぞれ見出し語「life line」が検索され、当該検索された先頭サブ辞書の辞書名付き見出し語「[シ] life line」がカーソルKにより識別されると共に、対応する説明情報がその下段に書き込まれたジャンプ検索見出し語選択情報表示画面G2j が表示部17に表示される。

10

【0084】

このジャンプ検索見出し語選択情報表示画面G2j において、検索表示されている2つのジャンプ先サブ辞書による各辞書名付き見出し語「[シ] life line」「[シ大] life line」のうちの何れか、例えば先頭の辞書名付き見出し語「[シ] life line」をカーソルKにより選択指定表示させた状態で（ステップQ22）、図11（D）に示すように、「訳／決定」キー16Yを操作すると（ステップQ23）、該指定された辞書名付き見出し語「[シ] life line」に対応したサブ辞書による説明情報が読み出され、ジャンプ検索情報表示画面G2j として表示部17に表示される（ステップQ15）。

【0085】

20

図12は前記携帯機器（電子辞書）10の第2実施形態の辞書検索処理に伴うジャンプ辞書検索の操作表示状態（その2）を示す図である。

【0086】

通常の辞書検索を行うのに、例えば図12（A）に示すように、入力部16の辞書キー「英和」16a3を選択操作して一覧表示される複数種類の英和辞典の中から元辞書データ「シ＊ニマス英和辞典」を指定し（ステップQ1）、検索対象の文字列（見出し語）「brain storming」を入力して「訳／決定」キー16Yを操作すると（ステップQ2）、入力文字列（見出し語）「brain storming」を検索対象に辞書データメモリ12bに記憶された前記指定の元辞書データ「シ＊ニマス英和辞典」による見出し語検索が行われ、これにより検索された見出し語「brain-storming」とその説明情報が検索情報表示画面G2として表示部17に表示される（ステップQ3）。

30

【0087】

この指定の元辞書データ「シ＊ニマス英和辞典」に基づき見出し語検索された「brain-storming」の説明情報の検索情報表示画面G2において、当該説明情報中の文字列「ブレインストーミング」を引き続きジャンプ検索するために、入力部16の「ジャンプ」キー16Jを操作してジャンプ検索モードに切り替えると共に（ステップQ4）、カーソルキー16yfを操作してジャンプ辞書検索の対象とすべき文字列「ブレインストーミング」をカーソルKにより指定表示させる（ステップQ5）。

【0088】

ここで、カーソルKにより指定表示させたジャンプ検索対象の文字列「ブレインストーミング」についてジャンプ辞書検索を行いたい場合に、図12（B）に示すように、入力部16の「訳／決定」キー16Yを操作すると（ステップQ6）、前記ジャンプ検索対象の文字列「ブレインストーミング」の文字種が「カタカナ」であることが検知される（ステップQ7）。

40

【0089】

すると、前記元辞書データ「シ＊ニマス英和辞典」とジャンプ検索対象文字列「ブレインストーミング」の検知文字種「カタカナ」に従いジャンプ先辞書設定テーブル12d（図8（B）参照）にて設定されている2つのメイン辞書データ「広 苑」「学習和英辞典」がジャンプ先辞書と決定され（ステップQ8）、この決定されたジャンプ先の各メイン辞書データ「広 苑」「学習和英辞典」に基づき前記ジャンプ検索対象文字列「ブレイン

50

ストーミング」を見出し語とする説明情報の検索が行われる（ステップQ9）。

【0090】

そして、前記ジャンプ検索対象文字列「ブレインストーミング」についてジャンプ先の各メイン辞書データ「広 苑」「学習和英辞典」から複数の見出し語が検索された場合には（ステップQ10）、この検索された各見出し語が各対応するメイン辞書名（記号）と共に、ジャンプ検索見出し語選択情報表示画面G2j にて一覧表示される（ステップQ11）。すなわちこの場合には、ジャンプ先辞書である2つのメイン辞書データ「広 苑」「学習和英辞典」からそれぞれ見出し語「ブレインストーミング」「ブレイン」が検索されて一覧表示され、当該検索された先頭メイン辞書の辞書名付き見出し語「[広]ブレインストーミング[brainstorming]」がカーソルKにより識別されると共に、対応する説明情報がその下段に書き込まれたジャンプ検索見出し語選択情報表示画面G2j が表示部17に表示される。

10

【0091】

このジャンプ検索見出し語選択情報表示画面G2j において、検索表示されている2つのジャンプ先メイン辞書による各辞書名付き見出し語「[広]ブレインストーミング[brainstorming]」「[学和]ブレインストーミング」「[広]ブレイン」「[学和]ブレイン」のうちの何れか、例えば先頭の辞書名付き見出し語「[学和]ブレインストーミング」をカーソルKにより選択指定表示させた状態で（ステップQ12 Q13）、「訳ノ決定」キー16Yを操作すると（ステップQ14）、該指定された辞書名付き見出し語「[学和]ブレインストーミング」に対応したメイン辞書による説明情報が読み出され、ジャンプ検索情報表示画面G2j として表示部17に表示される（ステップQ15）。

20

【0092】

一方、前記ステップQ9におけるジャンプ先の各メイン辞書データ「広 苑」「学習和英辞典」に基づいた前記ジャンプ検索対象文字列「ブレインストーミング」を見出し語とする説明情報の検索処理において、複数の見出し語は検索されず1つの見出し語しか検索されなかった場合には（ステップQ10 Q16）、該検索された見出し語に対応したメイン辞書による説明情報が読み出され、ジャンプ検索情報表示画面G2j として表示部17に表示される（ステップQ15）。

【0093】

一方、前記ステップQ11において、図12（B）で示したように、2つのジャンプ先メイン辞書により検索された各辞書名付き見出し語「[広]ブレインストーミング[brainstorming]」「[学和]ブレインストーミング」「[広]ブレイン」「[学和]ブレイン」が一覧表示されているジャンプ検索見出し語選択情報表示画面G2j にあって、そのカーソルKにより指定表示させた見出し語「[広]ブレインストーミング[brainstorming]」について、さらにサブのジャンプ先辞書でのジャンプ辞書検索を行いたい場合に、図12（C）に示すように、入力部16の「サブ辞書」キー16Dを操作すると（ステップQ12）、前記カーソルKにより指定表示させたジャンプ検索対象の文字列「ブレインストーミング」の文字種が「カタカナ」であることが検知される（ステップQ18）。

30

【0094】

すると、前記元辞書データ「シニマス英和辞典」とジャンプ検索対象文字列「ブレインストーミング」の検知文字種「カタカナ」に従いジャンプ先辞書設定テーブル12d（図8（B）参照）にて設定されている4つのサブ辞書データ「マイ百科事典」「シニマス英和辞典」「カタカナ語辞典」「IT用語事典」がジャンプ先辞書と決定され（ステップQ19）、この決定されたジャンプ先の各サブ辞書データ「マイ百科事典」「シニマス英和辞典」「カタカナ語辞典」「IT用語事典」に基づき前記さらなるジャンプ検索対象文字列「ブレインストーミング」を見出し語とする説明情報の検索が行われる（ステップQ20）。

40

【0095】

そして、前記ジャンプ検索対象文字列「ブレインストーミング」についてジャンプ先の各サブ辞書データ「マイ百科事典」「シニマス英和辞典」「カタカナ語辞典」「IT用

50

語事典」から検索された各見出し語が各対応するサブ辞書名（記号）と共に、ジャンプ検索見出し語選択情報表示画面 G 2 j にて一覧表示される（ステップ Q 2 1）。すなわちこの場合には、ジャンプ先辞書である 4 つのサブ辞書データのうち 1 つのサブ辞書データ「マイ百科事典」から見出し語「ブレンストーミング」が検索され、当該検索されたサブ辞書の辞書名付き見出し語「[マイ百]ブレンストーミング」がカーソル K により識別されると共に、対応する説明情報がその下段に書き込まれたジャンプ検索見出し語選択情報表示画面 G 2 j が表示部 1 7 に表示される。

【 0 0 9 6 】

このジャンプ検索見出し語選択情報表示画面 G 2 j において、検索表示されているジャンプ先サブ辞書による辞書名付き見出し語「[マイ百]ブレンストーミング」をカーソル K により指定表示させた状態で（ステップ Q 2 2）、図 1 2（D）に示すように、「訳 / 決定」キー 1 6 Y を操作すると（ステップ Q 2 3）、該指定された辞書名付き見出し語「[マイ百]ブレンストーミング」に対応したサブ辞書による説明情報が読み出され、ジャンプ検索情報表示画面 G 2 j として表示部 1 7 に表示される（ステップ Q 1 5）。

【 0 0 9 7 】

したがって、各種多数の辞書データを内蔵していても、ジャンプ先辞書の面倒な選択操作を行うことなく、「ジャンプ」キー 1 6 J を操作してジャンプ検索対象の文字や文字列を指定するだけで、指定の元辞書データと検索対象文字の文字種に応じて適切に設定されたメインとサブのジャンプ先辞書のうちのメインのジャンプ先辞書が自動選択されるので、容易にかつ適切なジャンプ先辞書を選択してジャンプ辞書検索表示を行うことができるばかりか、例えばこの自動選択されたメインのジャンプ先辞書による検索結果の情報に基づきさらにサブのジャンプ先辞書によるジャンプ辞書検索を「サブ辞書」キー 1 6 D を操作するだけで実行できるので、多数の辞書データを容易且つ有効に利用できるようになる。

【 0 0 9 8 】

なお、前記各実施形態において記載した携帯機器（電子辞書）1 0 による各処理の手法、すなわち、図 4・図 5 のフローチャートに示す第 1 実施形態のジャンプ辞書設定 / 検索処理、図 9 のフローチャートに示す第 2 実施形態のジャンプ先（メイン / サブ）辞書設定処理、図 1 0 のフローチャートに示す第 2 実施形態の辞書検索処理等の各手法は、何れもコンピュータに実行させることができるプログラムとして、メモリカード（ROM カード、RAM カード等）、磁気ディスク（フロッピディスク、ハードディスク等）、光ディスク（CD-ROM、DVD 等）、半導体メモリ等の外部記憶媒体 1 3 に格納して配布することができる。そして、通信ネットワーク（インターネット）N との通信機能を備えた種々のコンピュータ端末は、この外部記憶媒体 1 3 に記憶されたプログラムを記憶媒体読取部 1 4 によってメモリ 1 2 に読み込み、この読み込んだプログラムによって動作が制御されることにより、前記各実施形態において説明したジャンプ先辞書設定機能およびジャンプ辞書検索表示機能を実現し、前述した手法による同様の処理を実行することができる。

【 0 0 9 9 】

また、前記各手法を実現するためのプログラムのデータは、プログラムコードの形態として通信ネットワーク（インターネット）N 上を伝送させることができ、この通信ネットワーク（インターネット）N に接続されたコンピュータ端末（プログラムサーバ）から前記のプログラムデータを取り込み、前述したジャンプ先辞書設定機能およびジャンプ辞書検索表示機能を実現することもできる。

【 0 1 0 0 】

なお、本願発明は、前記各実施形態に限定されるものではなく、実施段階ではその要旨を逸脱しない範囲で種々に変形することが可能である。さらに、前記各実施形態には種々の段階の発明が含まれており、開示される複数の構成要件における適宜な組み合わせにより種々の発明が抽出され得る。例えば、各実施形態に示される全構成要件から幾つかの構成要件が削除されたり、幾つかの構成要件が組み合わされても、発明が解決しようとする課題の欄で述べた課題が解決でき、発明の効果の欄で述べられている効果が得られる場合

には、この構成要件が削除されたり組み合わされた構成が発明として抽出され得るものである。

【図面の簡単な説明】

【 0 1 0 1 】

【図 1】本発明の辞書情報表示制御装置の実施形態に係る携帯機器（電子辞書）10の電子回路の構成を示すブロック図。

【図 2】前記携帯機器（電子辞書）10の入力部16であるキーボードパネルを示す図。

【図 3】前記携帯機器（電子辞書）10の第1実施形態のジャンプ先辞書設定処理に伴うジャンプ先辞書設定画面G1での操作表示状態を示す図。

【図 4】前記携帯機器（電子辞書）10の第1実施形態のジャンプ辞書設定／検索処理を示すフローチャート。

10

【図 5】前記携帯機器（電子辞書）10の第1実施形態のジャンプ辞書設定／検索処理に伴うジャンプ先辞書設定処理（ステップSA）を詳細にして示すフローチャート。

【図 6】前記携帯機器（電子辞書）10の第1実施形態のジャンプ辞書設定／検索処理に伴うジャンプ辞書検索の操作表示状態（その1）を示す図。

【図 7】前記携帯機器（電子辞書）10の第1実施形態のジャンプ辞書設定／検索処理に伴うジャンプ辞書検索の操作表示状態（その2）を示す図。

【図 8】前記携帯機器（電子辞書）10の第2実施形態のジャンプ先（メイン／サブ）辞書設定処理に伴うジャンプ先（メイン／サブ）辞書設定画面G3での操作表示状態を示す図。

20

【図 9】前記携帯機器（電子辞書）10の第2実施形態のジャンプ先（メイン／サブ）辞書設定処理の詳細を示すフローチャート。

【図 10】前記携帯機器（電子辞書）10の第2実施形態の辞書検索処理を示すフローチャート。

【図 11】前記携帯機器（電子辞書）10の第2実施形態の辞書検索処理に伴うジャンプ辞書検索の操作表示状態（その1）を示す図。

【図 12】前記携帯機器（電子辞書）10の第2実施形態の辞書検索処理に伴うジャンプ辞書検索の操作表示状態（その2）を示す図。

【符号の説明】

【 0 1 0 2 】

30

- 10 ...携帯機器（電子辞書）
- 11 ...CPU
- 12 ...メモリ
- 12a ...辞書制御プログラム
- 12b ...辞書データメモリ
- 12c ...指定辞書メモリ
- 12d ...ジャンプ先辞書設定テーブル
- 12e ...入力文字メモリ
- 12f ...ジャンプ辞書メモリ
- 12g ...検索結果データメモリ
- 12h ...ワークエリア
- 13 ...外部記憶媒体
- 14 ...記憶媒体読取部
- 15 ...通信部
- 16 ...入力部
- 16a1～16a4...辞書キー
- 16m...「メニュー」キー
- 16D...「サブ辞書」キー
- 16Y...「訳／決定」キー
- 16J...「スーパージャンプ」キー

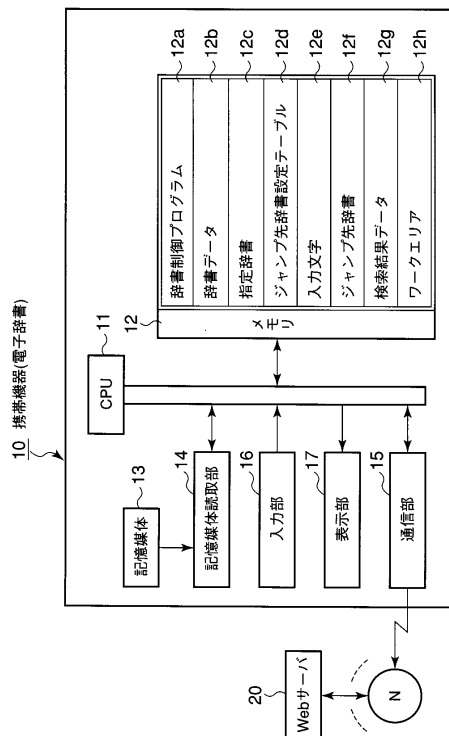
40

50

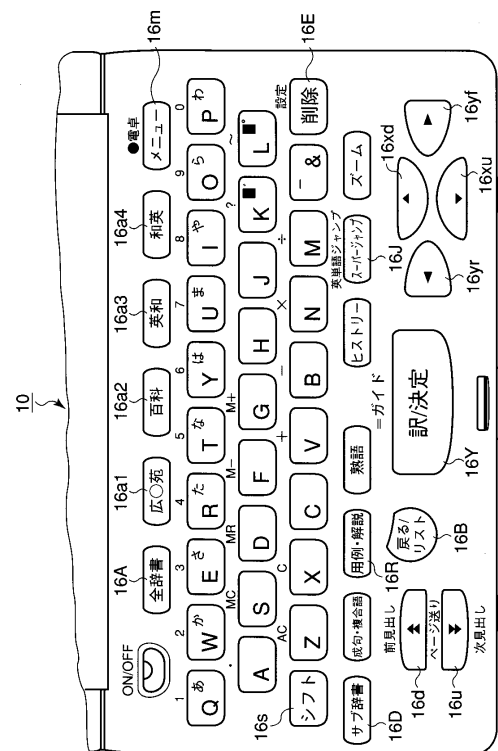
- 16s ... 「シフト」キー
- 16E ... 「設定」キー
- 17 ... 表示部
- 20 ... Webサーバ
- N ... 通信ネットワーク(インターネット)
- G1 ... ジャンプ先辞書設定画面
- G2 ... 検索情報表示画面
- G2j ... ジャンプ検索情報表示画面
- G2J ... ジャンプ検索見出し語選択情報表示画面
- G3 ... ジャンプ先(メイン/サブ)辞書設定画面
- K ... カーソル

10

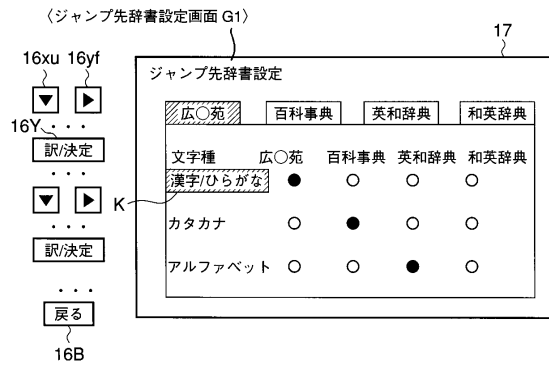
【図1】



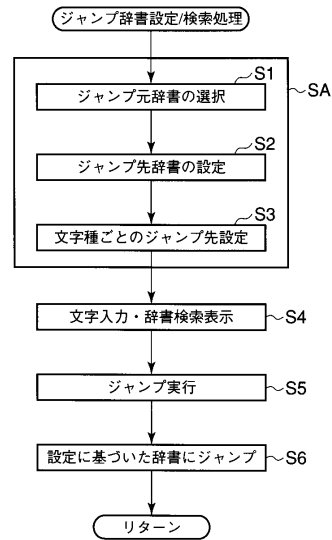
【図2】



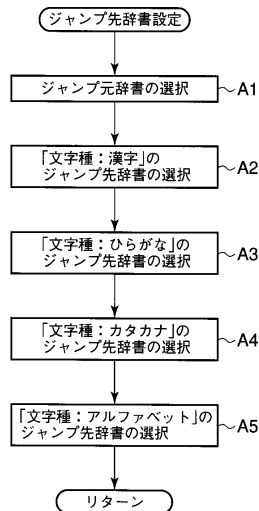
【図 3】



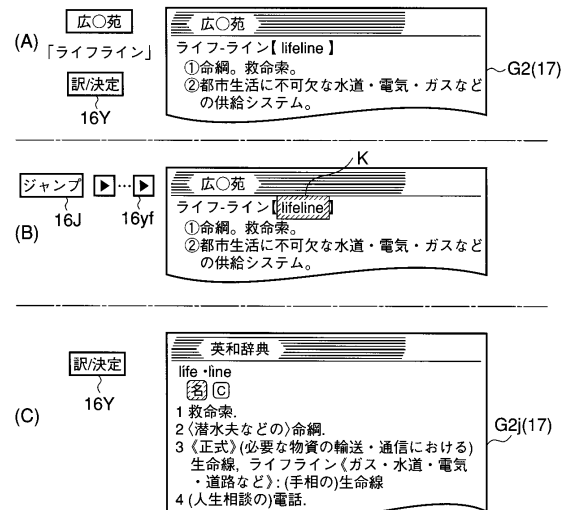
【図 4】



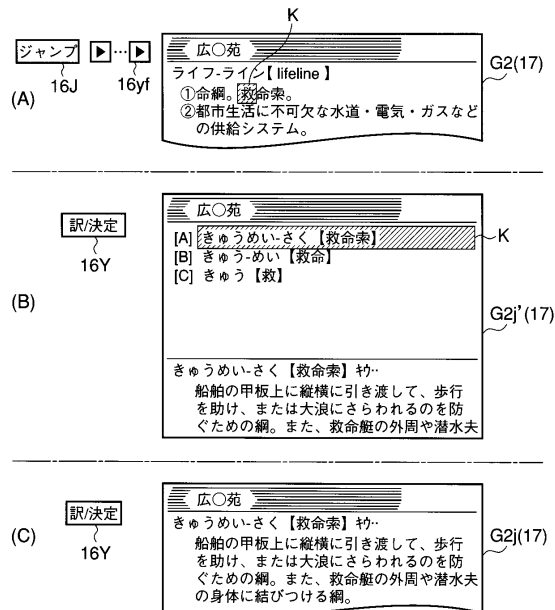
【図 5】



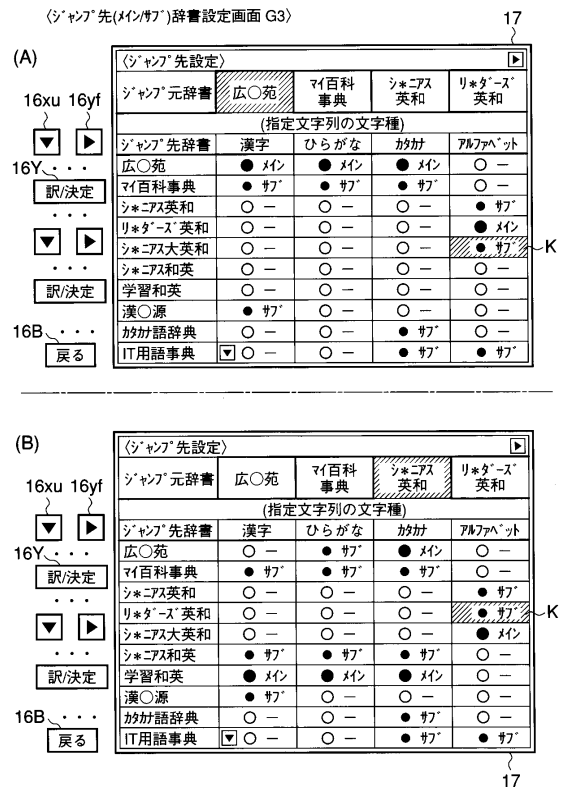
【図 6】



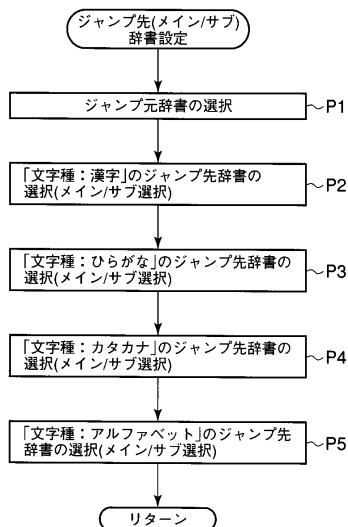
【図 7】



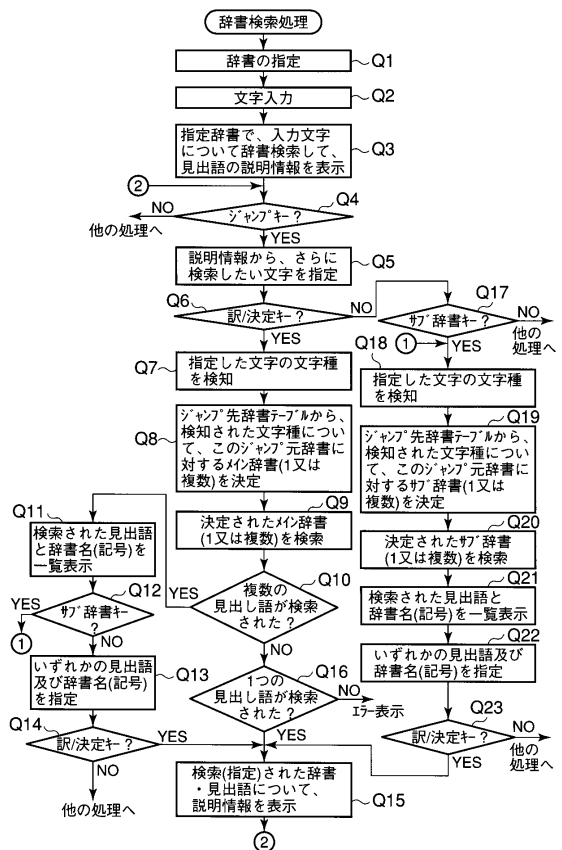
【図 8】



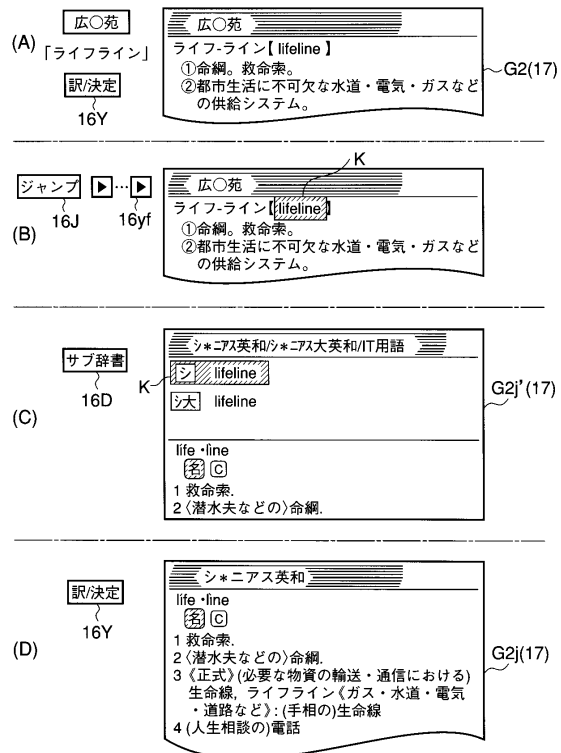
【図 9】



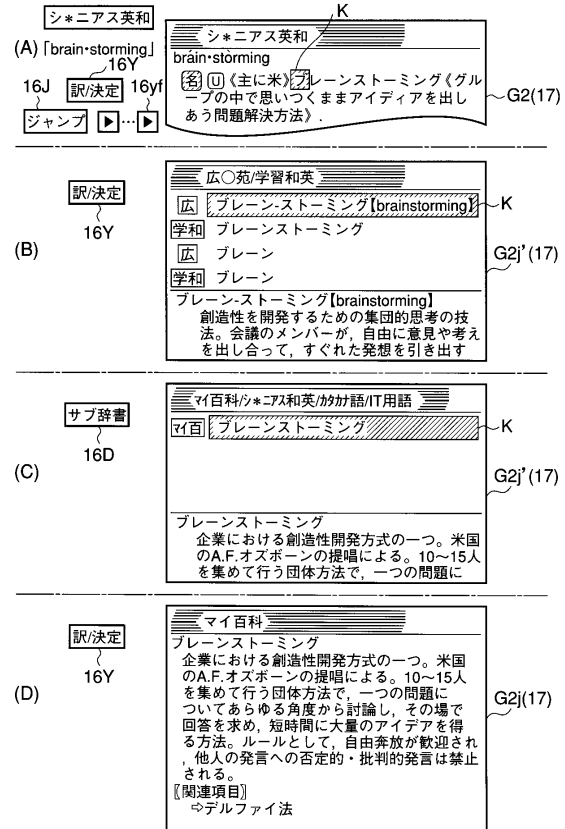
【図 10】



【図 11】



【図 12】



フロントページの続き

(74)代理人 100084618

弁理士 村松 貞男

(74)代理人 100092196

弁理士 橋本 良郎

(72)発明者 鈴木 基弘

東京都羽村市栄町3丁目2番1号 カシオ計算機株式会社羽村技術センター内

審査官 長谷川 篤男

(56)参考文献 特開2001-134565(JP,A)

特開2003-085182(JP,A)

特開平06-119385(JP,A)

特開平09-091293(JP,A)

特開平10-021253(JP,A)

特開平10-275155(JP,A)

特開平05-113964(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06F 17/30

G06F 17/28

JSTPlus(JDreamII)